

<審査委員会特別賞（広報応援事業） 4団体>

■ 特定非営利活動法人 ウィズネイチャー （兵庫）

「子育て情報ポータルサイト みんなE-NET（イーネット）」

団体概要	<p>1997年に任意団体として設立、親子でアウトドアによるリフレッシュを計るプログラムを提供してきた。近年の行政や地域での子育て支援の充実をうけ、2006年に法人格を取得するに当たり、団体のミッションを「親子のメンタルケアに関する事業や子育てをする親への様々な情報提供事業を行い、自己実現を支援する場とする」と発展的に変更した。今までの人的資産等を活かし、子育て情報ポータルサイトをスタートした。</p>
事業概要	<p>本事業は、パソコン内で地域の子育て情報を提供するものである。行政が行う子育て支援施策や地域のNPOの子育て情報、民間の事業所の情報など、あらゆる子育て情報を集約し発信する。また、情報を発信する一方で、母親・父親のニーズを探り、それを解決に結びつけるべく、行政・団体・企業に働きかける役割も担うことで、社会的に意義のあるNPO運営ポータルサイトを目指している。</p>

■ 北はりま地域づくり応援団 （兵庫）

「どんぐりっ子の森」

団体概要	<p>兵庫県による「参画と協働」の理念を受けて、北播磨地域の住民・グループ・団体により行われている様々な活動に対しての「サポート団体」となり、その活動が安定し運営していけるような協力、情報の提供、ネットワーク等をサポートすることを目的に、2004年に設立された。現在は、北はりま冒険遊び場、森林保全、近隣への出前クラフト体験など様々な活動を行っている。</p>
事業概要	<p>本事業は、2005年に加東市に開場した北はりま冒険遊び場を、自然体験・環境学習・森林保全の3本柱を軸に、エコエネルギーでの資源循環型の森づくりを展開するものである。2009年は、エコエネルギーで自然循環型水システムの森づくりとして、雨水を簡易ろ過器に通して洗いに使用し、洗剤等で汚れた水を簡易ろ過器に通して森に返して、森の生態系をこわさない、動植物と共生できる森づくりを実施する。</p>

■ 特定非営利活動法人 子育ては親育て みなのもり劇場 (京都)

「子育ての日常を喜劇仕立てで再現することによる親育てワークショップの開催と、プログラムの普及」

団体概要	子どもを取り囲む環境でいま最も問題なのは、親自身の未熟さと、それをカバーし成長を促す子育て支援体制の欠如だと、問題意識を共有する現役育児中の母親を中心としたメンバーが、2007年に設立。小学生の子ども達の参加型体験学習や自然体験活動、資格の有無に関係なく、伝えたい人が先生となり、教わる人と刺激し合う多ジャンル講座の定期開講などの活動を展開している。
事業概要	本事業は、現役の母親が作・演出・出演する当団体所属のどらりん劇団による喜劇「子育てあるあるドラマ」を通じて、共に笑い、共感し、学び合うディスカッションプログラム「子育て JOY トーク」を開催するものである。上演された芝居をテーマに、司会者の誘導でフリーディスカッションを行い、その後の茶話会で参加者のコミュニケーションを深め、子育て中の親のリラックスと楽しめる育児を応援する。

■ 特定非営利活動法人 こももネット (大阪)

「みんなでつながる阿倍野の元気 (食育プロジェクト)」

団体概要	子育て中の母親同士の関係の希薄化に危機感をもった、阿倍野区内の子育てサークルや関係機関が関心のある職員に呼びかけ 1997年に準備会として発足。つながることで活動の相乗効果や補完作用が期待できると考えて、阿倍野区内の子育て支援民間グループや公的機関、児童委員などに呼びかけ連携を実現した。学習会や情報提供、親子のイベントなどの事業を通じて、そのネットワークを広げている。
事業概要	本事業は、阿倍野区内の子育て家族を対象とした食の現状とニーズに関する調査をして、その結果をまとめ、行政および区内に発信するものである。さらに、その一環として「食」についての意識啓発を目的にした「食のつどい」の開催や、食育講座も実施し、継続した支援や地域の食に関する課題に地域ぐるみで取り組むためのプロセス構築を図るプログラムモデルを開発する。

(50音順)